

ディプロマ・ポリシー対応リスト（ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科 2022年度以降入学生）

ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科ディプロマ・ポリシー					
<p>ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。</p> <p>【観光専攻】</p> <p>1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接客を重視する産業において専門性を生かして活躍できる。</p> <p>2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。</p> <p>3 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。</p> <p>【経営情報専攻】</p> <p>1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識とICTリテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。</p> <p>2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。</p> <p>3 ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGsの達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。</p> <p>【グローバル・マネジメント専攻】</p> <p>1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。</p> <p>2 英語運用能力（CEFR B2レベル以上相当）を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。</p> <p>3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。</p>					
授業科目の名称	単位数	開講年次	観光専攻 ディプロマ・ポリシー	経営情報専攻 ディプロマ・ポリシー	グローバル・マネジメント専攻 ディプロマ・ポリシー
Academic English I	1	1	2	2	2
Academic English II	1	1	2	2	2
Academic English III	1	1・2	2	2	2
Academic English IV	1	1・2	2	2	2
English Grammar I -a	1	1	2	2	—
English Grammar I -b	1	1	2	2	—
English Grammar II -a	1	2	2	2	—
English Grammar II -b	1	2	2	2	—
English Writing I -a	1	1	2	—	2
English Writing I -b	1	1	2	—	2
English Writing II -a	1	1・2	2	—	—
English Writing II -b	1	1・2	2	—	—
English Speaking I -a	1	1	2	—	2
English Speaking I -b	1	1	2	—	2
English Speaking II -a	1	1・2	2	—	—
English Speaking II -b	1	1・2	2	—	—
Advanced English skills A	1	1・2・3・4	2	2	2
Advanced English skills B	1	1・2・3・4	2	2	2
Advanced English skills C	1	1・2・3・4	2	2	2
Advanced English skills D	1	1・2・3・4	2	2	2
Advanced English skills E	1	1・2・3・4	2	2	—
Advanced English skills F	1	1・2・3・4	2	2	—
中国語 I -a	1	1	—	—	2
中国語 I -b	1	1	—	—	2
中国語 II -a	1	2	—	—	2
中国語 II -b	1	2	—	—	2
日本語A	1	1・2・3・4	—	—	2
日本語B	1	1・2・3・4	—	—	2
日本語C	1	1・2・3・4	—	—	2
日本語D	1	1・2・3・4	—	—	2
日本語E	1	1・2・3・4	—	—	2
日本語F	1	1・2・3・4	—	—	2
パーソナル・コミュニケーションリテラシー I	2	2	3	—	—
パーソナル・コミュニケーションリテラシー II	2	2	3	—	—
パーソナル・コミュニケーション探究A（ビジネスネットワークキング）	2	3・4	3	—	—
パーソナル・コミュニケーション探究B（国際平和と観光）	2	3・4	3	—	—
パーソナル・コミュニケーション探究C（マイノリティと共生社会）	2	3・4	3	—	—
パーソナル・コミュニケーション探究D（グローバル化とSDGs）	2	3・4	3	—	—
サービスコミュニケーション実習 I -a	1	1	3	3	—
サービスコミュニケーション実習 I -b	1	1	3	3	—
サービスコミュニケーション実習 II	1	2・3・4	3	3	—
サービスコミュニケーション実習 III	1	3・4	3	3	—
日本文化論	2	1・2・3・4	1	—	2

ディプロマ・ポリシー対応リスト（ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科 2022年度以降入学生）

ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科ディプロマ・ポリシー

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。

【観光専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接客を重視する産業界において専門性を生かして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。
- 3 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。

【経営情報専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識とICTリテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGsの達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。

【グローバル・マネジメント専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B2レベル以上相当）を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。

授業科目の名称	単位数	開講年次	観光専攻 ディプロマ・ポリシー	経営情報専攻 ディプロマ・ポリシー	グローバル・マネジメント専攻 ディプロマ・ポリシー
文化と芸術	2	1・2	—	—	2
世界遺産論	2	1・2・3・4	1	—	2
デスティネーション研究A（日本）	2	1・2・3・4	1	—	2
デスティネーション研究B（ヨーロッパ）	2	1・2・3・4	1	—	2
デスティネーション研究C（南北アメリカ）	2	1・2・3・4	1	—	2
デスティネーション研究D（アジア）	2	1・2・3・4	1	—	2
デスティネーション研究E（オセアニア・太平洋地域）	2	1・2・3・4	1	—	2
デスティネーション研究F（アフリカ・中東地域等）	2	1・2・3・4	1	—	2
ホスピタリティ論	2	1・2	1	1	1
ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ	2	1・2	1	1	1
ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ	2	1・2	1	1	1
エアラインビジネス論	2	2・3・4	1	1	1
ホテルビジネス論	2	2・3・4	1	1	1
交流創造ビジネス論	2	2・3・4	1	1	1
ラクチャー論	2	3・4	1	1	—
国際ホスピタリティビジネス研究	2	3・4	2	2	—
ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ（インフィニ国際線予約システム予約編-初中級）	1	1・2・3・4	1	1	—
ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ（インフィニ国際線予約システム運営編-上級）	1	1・2・3・4	1	1	—
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修B	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修C	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修D	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修E	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修F	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修G	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修H	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A	2	1・2・3・4	2	2	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修B	2	1・2・3・4	2	2	3
ホスピタリティ・ボランティア活動	4	1・2・3・4	3	3	3
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A（フード・ビバレッジ）	2	2・3・4	1	1	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B（コンシェルジュ/ビジネスネットワーキング）	2	2・3・4	—	—	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B（グライダル・フェーパルビズ）	2	2・3・4	1	1	—
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C（法規）	2	2・3・4	1	1	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D（インターナショナル・マーケティング）	2	2・3・4	1	1	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E（MICE）	2	2・3・4	1	1	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F（地域創生）	2	2・3・4	1	3	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G（社会と観光）	2	2・3・4	—	—	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G（グライダルⅠ）	2	2・3・4	1	1	—
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H（eコマース）	2	2・3・4	—	—	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H（グライダルⅡ）	2	2・3・4	1	1	—
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I（クルーズビジネス）	2	2・3・4	1	1	1
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J（トラベルエージェンツ実務）	2	2・3・4	1	1	—
マーケティング概論	2	1・2・3・4	1	1	1

ディプロマ・ポリシー対応リスト（ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科 2022年度以降入学生）

ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科ディプロマ・ポリシー

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。

【観光専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接客を重視する産業界において専門性を生かして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。
- 3 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。

【経営情報専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識とICTリテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGsの達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。

【グローバル・マネジメント専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B2レベル以上相当）を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。

授業科目の名称	単位数	開講年次	観光専攻 ディプロマ・ポリシー	経営情報専攻 ディプロマ・ポリシー	グローバル・マネジメント専攻 ディプロマ・ポリシー
マネジメント総論	2	1・2・3・4	1	1	1
アカウント基盤	2	1・2・3・4	1	1	1
ファイナンス基礎	2	1・2・3・4	1	1	1
イノベーション概論	2	1・2・3・4	1	1	1
経済学概論	2	1・2・3・4	—	—	1
統計学Ⅰ	2	1・2・3・4	1	1	1
統計学Ⅱ	2	2・3・4	1	1	1
倫理とコンプライアンス	2	2・3・4	1	3	1
リーダーシップ論	2	2・3・4	1	3	3
異文化マネジメント論	2	2・3・4	1	3	1
国際ビジネス関係論	2	3・4	1	3	1
経営戦略論	2	3・4	1	1	1
サービス・マーケティング論	2	3・4	1	1	1
サービス経済論	2	3・4	—	—	1
デスティネーション・マーケティング論	2	3・4	1	3	1
デスティネーション・マネジメント論	2	3・4	1	3	1
ヒューマンリソースマネジメント論	2	3・4	1	1	1
リスクマネジメント論	2	3・4	1	1	1
交通経済システム論A	2	3・4	1	1	1
交通経済システム論B	2	3・4	1	1	1
特別講義A	2	2・3・4	1	1	1
特別講義B	2	2・3・4	1	1	1
エアラインマネジメント論	2	3・4	1	1	1
観光事業マネジメント論	2	3・4	1	1	1
フード&ビバレッジマネジメント論	2	3・4	1	1	1
ホテルマネジメント論	2	3・4	1	1	1
IoTテクノロジー基礎	2	1・2・3・4	1	1	—
デジタルライゼーション概論	2	1・2・3・4	1	1	—
ロジカル思考	2	1・2・3・4	—	3	3
デザイン思考	2	2・3・4	—	3	—
データ解析基礎	2	2・3・4	1	3	—
プロポーザル管理基礎	2	2・3・4	1	3	—
デジタル・イノベーション実地研修	2	2	—	3	—
デジタル・イノベーション探究A（デジタルライゼーション・ビジネスモデル・プラットフォームビジネス）	2	2・3・4	—	1	—
デジタル・イノベーション探究B（顧客価値・顧客データ分析・CRM）	2	2・3・4	—	1	—
デジタル・イノベーション探究C（プロジェクト管理）	2	2・3・4	—	1	—
デジタル・イノベーション探究D（デジタルライゼーションとSDGs・国際社会）	2	2・3・4	—	3	—
デジタル・イノベーション探究E（オムニチャネル・OMO・D2C）	2	3・4	—	1	—
デジタル・イノベーション探究F（経営情報システムと情報セキュリティ）	2	3・4	—	1	—
デジタル・イノベーション探究G（AI・RPA・深層学習）	2	3・4	—	1	—
デジタル・イノベーション実践演習A（プロジェクト管理）	2	3・4	—	3	—
デジタル・イノベーション実践演習B（プロポーザル管理・交渉）	2	3・4	—	3	—
デジタル・イノベーション実践演習C（データマイニング）	2	3・4	—	1	—

ディプロマ・ポリシー対応リスト（ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科 2022年度以降入学生）

ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科ディプロマ・ポリシー					
<p>ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。</p> <p>【観光専攻】</p> <p>1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接客を重視する産業界において専門性を生かして活躍できる。</p> <p>2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。</p> <p>3 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。</p> <p>【経営情報専攻】</p> <p>1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識とICTリテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。</p> <p>2 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。</p> <p>3 ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGsの達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。</p> <p>【グローバル・マネジメント専攻】</p> <p>1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。</p> <p>2 英語運用能力（CEFR B2レベル以上相当）を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。</p> <p>3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。</p>					
授業科目の名称	単位数	開講年次	観光専攻 ディプロマ・ポリシー	経営情報専攻 ディプロマ・ポリシー	グローバル・マネジメント専攻 ディプロマ・ポリシー
デジタル・イノベーション実践演習D（デジタル・マーケティング技術）	2	3・4	—	1	—
パーソナル・コミュニケーション実践演習A（ホテル商品企画）	2	3・4	1	—	—
パーソナル・コミュニケーション実践演習B（地域研究）	2	3・4	1	—	—
パーソナル・コミュニケーション実践演習C（OJ・インフォメーション・ディベート）	2	2・3・4	3	—	—
パーソナル・コミュニケーション実践演習D（プレゼンテーション技法）	2	2・3・4	3	—	—
パーソナル・コミュニケーション実践演習E（コンシェルジュ）	2	3・4	3	—	—
グローバル・マネジメント実践演習A（ホテル商品企画）	2	3・4	—	—	3
グローバル・マネジメント実践演習B（地域研究）	2	3・4	—	—	3
グローバル・マネジメント実践演習C（クリティカルシンキング・ディベート）	2	2・3・4	—	—	3
グローバル・マネジメント実践演習D（プレゼンテーション技法）	2	2・3・4	—	—	3
プレゼミナールⅠ-a	2	1	3	3	3
プレゼミナールⅠ-b	2	1	3	3	3
プレゼミナールⅡ-a	2	2	3	3	3
プレゼミナールⅡ-b	2	2	3	3	3
ケーススタディⅠ-a	2	3	3	3	3
ケーススタディⅠ-b	2	3	3	3	3
ケーススタディⅡ-a	2	4	3	3	3
ケーススタディⅡ-b	2	4	3	3	3